

《2014年(平成26年)度入学生用》

# 建築学科

Department of Architecture

## 【第Ⅱ群】

共通基礎科目及び  
共通専門科目

a) 共通基礎科目

b) 専門基礎科目

## 【第Ⅲ群】

専門科目 —— 専門科目

### ■第2部建築学科カリキュラムの教育理念

第2部としての教育方針は、年齢にかかわらず必要に応じて何時でも働きながら学ぶことができる開かれた大学を目指すということである。これを具体的に記せば、入学資格は高等学校卒業とはしているものの新卒者に限らず社会人として既に職に就いている入学希望者を社会人推薦入学制度により受入れ、本校や他大学の卒業生を2年次または3年次への編入学として門戸を開いている。

また、主体的な学習意欲に応えるべく、建築の専門科目においては全て選択科目とし、各人の学びたい内容による履修としている。

### ■第2部建築学科カリキュラムの編成

建築学は、大きく、計画系、構造系、生産系、環境設備系の四つに分類される。第2部建築学科カリキュラムではそれぞれの分野における基礎的な部分について、2年次の前期までに学修すべき科目として配置している。

たとえば、計画系における建築設計では、建築を学ぶための大切な基礎的学習方法として、頭と共に手も使って修練を重ねて覚えてゆく“手法”の修得が大切であることから、基礎設計・図法やベーシックデザインを1年次から始めている。

### ■建築士の受験資格要件

平成21年度（平成21年4月入学生）の新入生からは、国土交通大臣の指定する科目を単位取得することが義務付けられた。将来建築士を受験したいと考える場合は注意して履修計画を立てること。

2014年度入学生用 第2部 建築学科 履修フロー

	1年 前期	1年 後期	2年 前期	2年 後期	3年 前期	3年 後期	4年 前期	4年 後期		
【第Ⅰ群】総合教育科目	総合文化科目		文化と人間(2)×18科目			歴史と社会(2)×16				
	水曜・1～2限					水曜・1～2限		水曜・1～2限		
	外国語科目		総合英語Ⅲ(2)			(他に夏期語学研修(英語・中国語) 1～4年(2)あり)				
	総合英語Ⅰ(2) 総合英語Ⅱ(2)		応用英語(2)×4科目							
保健体育科目	第2外国語(ドイツ語Ⅰ(2)、フランス語Ⅰ(2)、中国語Ⅰ(2))		第2外国語(ドイツ語Ⅱ(2)、フランス語Ⅱ(2)、中国語Ⅱ(2))			第2外国語(ドイツ語Ⅱ(2)、フランス語Ⅱ(2)、中国語Ⅱ(2))				
	身体と健康(2) 身体・運動科学演習(2)		生涯スポーツA(1) 生涯スポーツB(1)			生涯スポーツC(1)				
【第Ⅱ群】専門共通科目	共通基礎科目		数学Ⅰ(2) 数学Ⅱ(2) 基礎数学演習(1) 物理学Ⅰ(2) 物理学Ⅱ(2) 基礎物理学演習(1) 化学Ⅰ(2) 化学Ⅱ(2) 基礎化学演習(1) 生物学概論(2) 地球科学概論(1) 現代科学技術概論(1)							
	専門基礎科目		線形代数学Ⅰ(2) 線形代数学Ⅱ(2) 幾何学Ⅰ(2) 幾何学Ⅱ(2) 微分方程式論(2) 複素関数論(2) 統計学(2) 安全工学(2) 人間工学(2) 経営工学(2) ※ 特許法(2) ※ 労働法規(2) ※ 環境科学(2) 情報処理術及演習(3)			安全工学(2) 人間工学(2) 経営工学(2) ※ 特許法(2) ※ 労働法規(2) ※ 環境科学(2)		安全工学(2) 人間工学(2) 経営工学(2) ※ 特許法(2) ※ 労働法規(2) ※ 環境科学(2)		
【第Ⅲ群】専門科目	パーシクデザイン(2) 住居デザイン(2)		空間デザイン(2) 建築設計Ⅰ(2) 基礎設計・図法(2) ※ 建築設計Ⅱ(2)			建築設計論(2) 建築設計Ⅲ(2)				
	建築計画Ⅰ(2)		建築計画Ⅱ(2) 西洋建築史(2) 日本建築史(2)			建築計画Ⅲ(2) 近代建築史(2)		都市デザイン(2) 都市計画(2) 市街地整備計画(2)		
		構造力学Ⅰ(2) 構造力学Ⅱ(2)			構造力学Ⅲ(2)		鉄筋コンクリート構造(2) 鋼構造(2) 木質構造(2) ※ 地盤・基礎工学(2) ※ 構造設計法(2)			
		建築材料(2) 内外装材料(2) 建築構法(2) 建築施工(2)			構法計画(2)		施工管理(2)			
		環境工学Ⅰ(2) 環境工学Ⅱ(2) 設備計画(2)			空調調和設備(2)		給排水衛生設備(2) ※ 設備設計法(2)		電気情報設備(2)	
		建築基礎実験(2)			学外研修(2)		建築法規(2) 建築経済(2) 防災工学(2)		不動産法規(2)	
							研究セミナー(5)			

必修科目
選択必修科目
選択科目
※
1または1

※ 半期の後半に枠：特別授業週間

〔工学部第2部〕

建築学科 共通基礎科目及び共通専門科目、専門科目

2014年(平成26年)度入学生用

共通基礎科目及び共通専門科目

○印＝必修科目，無印＝選択科目

区分	種別	科目名	単位数	標準授業学年と毎週授業時限数(コマ数)												備考
				1年			2年			3年			4年			
				前	後	特	前	後	特	前	後	特	前	後	特	
【第Ⅱ群】 共通基礎科目	a)	○ 数学Ⅰ	2	1											必修を含めて 12単位以上の 修得を要する  〈平成26年度休講〉	
		数学Ⅱ	2		1											
		○ 物理学Ⅰ	2	1												
		物理学Ⅱ	2		1											
		○ 化学Ⅰ	2	1												
		化学Ⅱ	2		1											
		生物学概論	2		1											
		地球科学概論	2		1											
		現代科学技術概論	2		1											
		基礎数学演習	1	1	または1											
		基礎物理学演習	1	1	または1											
		基礎化学演習	1	1	または1											
		小 計			21											
【第Ⅱ群】 専門基礎科目	b)	線形代数学Ⅰ	2	1										注1)		
		線形代数学Ⅱ	2		1											
		微分方程式論	2			1										
		複素関数論	2				1									
		幾何学Ⅰ	2	1												
		幾何学Ⅱ	2		1											
		統計学	2			1										
		人間工学	2			1		1			1					
		経営工学	2				1		1			1				
		知的財産権法	2					1		1			1			
		安全工学	2			1		1			1					
		労働法規	2					1		1			1			
		環境科学	2					1			1		1			
情報処理概論及演習	3	1	1													
小 計			29													

標準履修学年，学期は変更することがある。



専門科目

無印＝選択科目

授業科目				標準授業学年と毎週授業時限数(コマ数)												備考
区分	種別	科目名	単位数	1年			2年			3年			4年			
				前	後	特	前	後	特	前	後	特	前	後	特	
【第Ⅲ群】 専門科目		防災工学	2										1			注3)
		建築基礎実験	2				2									
		電算機利用法Ⅰ	2				1									
		電算機利用法Ⅱ	2					1								
		学外研修	2							☆						
		研究セミナー	5											☆		
		小計	97													
	※	職業指導	4										1	1		
第Ⅲ群合計			97													

標準履修学年、学期は変更することがある。

注1) 他学科で受講のこと。

注2) 鋼構造、木質構造は隔年交番で開講する。

注3) 夏期集中

注4) ※印の科目は教員免許状取得に必要な科目であって、『卒業に必要な単位数』に算入することはできない。

◇建築学科の履修規定と履修上の注意〔工学部第2部 2014年(平成26年)度入学生用〕

I 履修規定

■カリキュラムの経過措置と再入学生、編入学生に対する取扱い

- (イ) 学生には、入学年度のカリキュラムが適用される。
- (ロ) 入学年度のカリキュラムにない専門科目を履修した場合は、対応表（キューポート「カリキュラムの変遷表」）によって認定される。
- (ハ) 再入学生、編入学生には、再入学、編入学年次に該当するカリキュラムが適用される。再入学、編入学年次とは、たとえば2014年度に3年生として編入学した学生にとっては2012年度のことである。よって、2012年度の学生便覧が適用されるので十分注意すること。

■4年次「研究セミナー」履修条件

- 3年次までに、以下の条件を満たす者のみ履修できる。
- (イ) 総単位数80単位以上修得すること。
- (ロ) 第Ⅲ群専門科目を合計40単位以上修得すること。（第1部履修許可科目も含む）
- (ハ) 編入学生（3年次編入のみ）の条件は、第Ⅲ群専門科目から30単位以上を修得していなければならない。（第1部履修許可科目も含む）

II 履修上の注意

- (イ) 同一の科目名に付いているⅠ、Ⅱ、Ⅲの記述はレベルの相違を表わしている場合があるので、そのような科目は数字の小さい方から履修することが望ましい。科目内容を確認の上、履修のこと。
- (ロ) 履修上の注意については、履修の手引きを参照のこと。また、必要に応じて建築学部の掲示板にて指示する。
- (ハ) 建築士の受験資格要件  
平成21年度（平成21年4月入学生）の新入生からは、国土交通大臣の指定する科目を単位取得することが義務付けられた。将来建築士を受験したいと考える場合は注意して履修計画をたてること。

【卒業の条件】

群	科目区分	卒業に必要な単位数
[第Ⅰ群] 総合教育科目	a) 総合文化科目	16単位
	b) 外国語科目	8単位（含む必修6単位）
	c) 保健体育科目	2単位
[第Ⅱ群] 共通基礎及び 共通専門科目	a) 共通基礎科目	12単位（含む必修6単位）
	b) 共通専門科目	
[第Ⅲ群] 専門科目		*66単位 注1)
自由枠		20単位 注2)
合計		124単位

上記の単位数は必要最小限の単位数である。

注1) \*の区分からの取得すべき66単位のうち、12単位までを建築学部配当の履修許可科目から振り替えることができる。

注2) 自由枠とは、工学部第2部第Ⅰ群、第Ⅱ群、第Ⅲ群、第1部配当科目の自由研究科目および第1部履修許可科目（工学部建築系学科、建築学科、建築都市デザイン学科は除く）の中から自由に履修できる枠である。